

僕のえいがの百三十科

「青島×室井＝踊る大捜査線」「仙崎×吉岡＝海猿」。そして秋にヒットした仏映画は「大富豪×黒人弁護士＝最強のふたり」。男と男の映画って実は面白い。探してみたら、結構面白い「男男映画」を3本発見しました！



笠井 信輔

フジテレビアナウンサー
「とくダネ！」放送中！
(毎週月～金 8:00～9:55)

カラスの親指

カラス・プロのサギ師。
今度は「正義」で人を騙します。



◎道尾秀介・講談社/2012「カラスの親指」フィルムパートナーズ
2012年11月23日(金・祝)全国ロードショー

今や飛ぶ鳥を落とす勢いの俳優・阿部寛×滑り芸の極致を行く芸人・村上ジョージ。二人が詐欺師に扮するパディムービー。これぞキャスティングの妙！はじめは違和感があるが、ラストは配役の上手さがしみみと温かさに繋がった。敏腕詐欺師と、うだつの上がないオヤジ詐欺師(まるで「ツイインズ」のシユワ&ダニー・デビート)が、ひよんなことから出あった少女と共に挑む、人生最大の「山」を描く。誰も思いつかなかった「最強の二人」が日本にもいたのだ。

驚くのは2時間40分という上映時間。確かに長い。詐欺大作戦が始まると、これがハラハラドキドキ。想像を超える展開に「うそー」と声が出そうになったりかなり巻き込まれた。ラスト20分まで物語のすべてをひっくり返す展開はお見事の一言。我慢の後の爽快感はいい。

その夜の侍

実力派の堺雅人×山田孝之
「お前を殺して、俺は死ぬ」

次は、堺雅人×山田孝之。こだわりぬいた芝居を見せる「性格俳優」二人が、ガッツリ組んだ。時代劇ではない。孤獨な人間たちが織り成す「現代の仇討ち」を描く。妻をひき逃げされた主人公に堺5年後、妻の命日に彼が狙うのは、妻をひいた男(山田)だ。魂が抜けたような、しかし、妻の最後の声(留守録)を5年間聞き続け、復讐への執着だけは強烈な堺の真骨頂を見せるような芝居に対し、山田はどこに弾が飛ぶかわからない暴発銃のような見事な悪党ぶりで、黒々と光る演技で返す。脇では注目の若手演技派綾野剛、新井浩文、安藤サクラがこぞとばかり存在感を見せる。そんな静かなる芝居合戦が見る者の感情を掻き立てた。「平凡(な生活)とは全力の上に築きあげるもの」。あの状態で新井が言い放つ言葉が、胸に刺さった。納得。



◎2012「その夜の侍」製作委員会
2012年11月17日(土)全国ロードショー

39 窃盗団

ダウン症の青年が主役を演じる
意外と社会派？コメディ！



◎2011 サンキューキネマ団
11月17日(土)新宿 K's シネマ、川崎市アートセンターにて公開

3本中、最もインパクトのある「男2人映画」が、ダウン症の兄(キヨタカ)と発達障害の弟(ヒロシ)による犯罪を描く本作。キヨタカは本当のダウン症なのだが、作風はコメディ！ガラクタバカリ取ってくるマヌケな泥棒キヨタカは、実に笑顔がいい。その自然な演技の秘密は、本作品の監督、押田監督がキヨタカとヒロシの本当のお兄さんだから。その絆が障害者をコメディで笑いながも温かい感覚を産み、笑わせながらも障害者が持つ切実な問題を次々とストレートに描写してゆく。ちよっと奇跡のような映画だった。

Information

くらしの百科ホームページでは、最新映画情報や試写会プレゼントを実施中！バックナンバーも公開中です。

くらしの百科HP
アドレス
<http://www.sankei-kurashi.com/>